

シリーズ 第8回

白鳥の歌

おかえり!

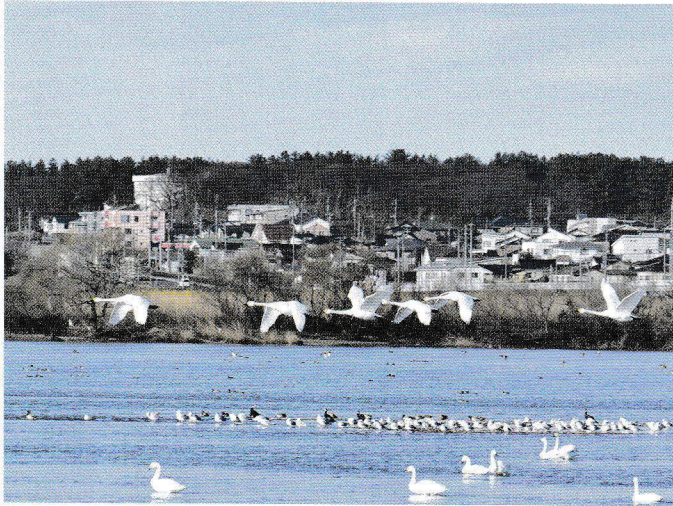
文・写真 岸谷 英雄

診療所だより

第四一四号 (11月号)

発行 (医) 宏友会
上田診療所
酒田市上野菅根
字上中割73番地
TEL0234-27-3306
責任者 矢島恭一

今年も白鳥さんたちが遠くシベリアから帰って来ました。白鳥さんたちは毎年ちようど稲刈りが終わるのを待ちかねた様をやってきました。これは偶然ではなく、稲作の盛んな地域に白鳥の飛来地が多くあることから、餌の豊富な土地へ、稲刈り後に飛来するのは理にかなった事だと思えます。



白鳥さんたちは、毎朝寝ぐらのある最上川から、次々と稲刈りの終わった田んぼに「出勤」します。思い思いの場所で、親鳥と子ども白鳥ファミリーと一緒に落穂をついばむ姿は可愛らしく、心を和ませてくれます。



そうして、夕闇迫る頃になると、5羽から多いと20羽以上のグループで、次々と最上川に帰ってきます。帰ってくるなり、「あそこの田んぼにたくさん餌あったよ」と情報交換したり、「そこは私たちの居場所だ!!」と言い争ったり、それはもう大騒ぎ。確

かに、騒々しいのですが、僕はまるで遠くに住んでいる親せきの子供たちが大挙して実家に帰ってきて一気に賑やかになるよう、「騒々しさもまた楽しからずや」と思うようになりました。

それに田んぼで一生懸命ご飯を探し、他の白鳥さんと縄張り争って大きな声で鳴く、みんな白鳥さんたちが生きていくための大事な「仕事」です。

写真の1枚目は田んぼに出勤する白鳥さんたち、2枚目は田んぼでご飯を食べる白鳥さんファミリー(僕の想像で家族の会話を入れました(笑))、3枚目は縄張り争いする白鳥さんです。



シリーズ「ふるさと」

その167 博労(ばくろ) 博労(ばくろ)

木枯らしが吹きすさぶ晩秋になると思い出す風景がある。博労が5〜6頭の馬を引いて歩く姿が、遠くに霞んで見えたことである。博労とは農耕馬を売買する人のことだ。ふる里にも何人かいたよ

「博労によつて調教の仕方が違つての…」馬の扱いには苦労した」と長老は思い出を話してくれた。「原野で自由に育つた馬にとつて、人間の指示に従うように調教されることは屈辱だったに違いない」とも言う。「トラクターに比べる」と馬の馬力は格段に弱かつたの

うだ。馬の手綱を前の馬の尻尾に結び、数珠つなぎになつて歩く姿は晩秋の風物詩であつた。



「博労の泊まり 定めぬ秋の風」(伊藤不玉)の句は晩秋の心の風景にピツタリする。不玉(ふぎよく)1648〜1697)は酒田の人

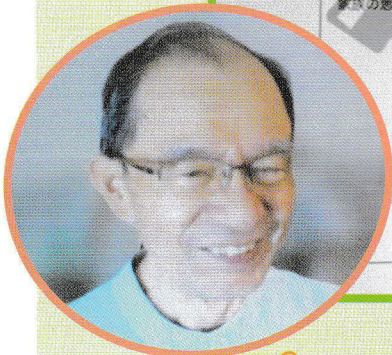
北海道などで飼育された馬

で、芭蕉が宿泊した宿の主人である。本名は伊東玄順といふ庄内藩お抱えの医者であつた。不玉邸跡は酒田市中町にあり、石碑が立っている。

で、馬は機械にとつて代わられた」とも言う。若い時、馬と共に生きた長老の姿に農民としての誇りが垣間見えた。

(庄内 平也)

9月29日 前沢政次先生講演会 「北の国からこんばんは」



北海道夕張診療所とつないで前沢先生の取り組みについて聴かせていただきました!

ホップトニユニオ

診療所特製案山子 「ナースのニコちゃん」

仕上げのヘアカット



上田地区文化祭で展示されます!

講話にも登場した前沢先生の著書



窓口にて特別価格 1400円で販売中です!

戦争を知らない子供たち

矢島 恭一

今年中に書いておきたいことが残っていました。

2月にロシアがウクライナに侵攻し、現在も戦時状態にあります。小紙の4月号に我が酒田フィルハーモニー管弦楽団で持ち上がったロシアの作曲家の演奏はすべきではないのではいかという論争を書きました。結局芸術と政治は切り離して考えるべきものという結論になり、今月27日の50回記念演奏会で演奏することになっていきます。

それよりもロシアが一方的にウクライナに侵攻したことに対し、欧米それに日本も猛烈に非難し、様々な制裁を課しました。その結果世界中がエネルギー危機に瀕し、ガソリン価格の高騰、電気代の値上げのほか食糧危機に発展しています。

国連が仲裁に入ってもロシアを非難する国もあれば、指示する国もあり、まとめるどころか、もはや国連は機能不全になっています。これでは（飛躍かもしれませんが）今後第三次世界大戦に発展する可能性も否定できません。

私はウクライナ侵攻後ずっと心の中がもやもやし、戦争とはそんなものではないかという考えが今も去来しています。私が大学に入った頃の一時期こんな歌が流行りました。

戦争が終わって 僕等は生まれた
戦争を知らずに 僕らは育った
おとなになって 歩きはじめる
平和の歌を くちさみながら
僕らの名前を 覚えてほしい
戦争を知らない 子供たちさ
作詞 北山 修 作曲 杉田二郎
歌 ジローズ



まさに私たちのこと。第二次世界大戦に負けて、進駐軍に支配され、永久に戦争を放棄する平和国家を憲法で謳うようになったと学校で教えられました。そのため私たちの世代は、「もう戦争のことは考えなくてよい」「戦争は悪いことなのだから」と信じて生きてきました。でもそれで良かったのだろうか

侵攻後考えるようになりました。戦前日本が、朝鮮を併合したり、中国本土に侵攻、民間人を大量虐殺したりしたことには触れずに、ロシアが悪いと言っているのだろうか。私ももやもやしている点のひとつがここです。

第二次世界大戦は、日本では「太平洋戦争」「大東亜戦争」と呼ばれることが多いのですが、「15年戦争」と呼ばれることもあることを知りました。これは、昭和6年の中国・柳条湖事件から昭和20年のポツダム宣言受託のまでの15年です。つまり昭和16年12月米国に宣戦布告して始まった太平洋戦争以前から戦争は始まっていたということなのです。

この流れの中で、異議を唱える日本人は当然いたはずなのに、その声はかき消され、次第に政府によって都合の良いように統一化されてしまったと歴史上では認定されています。

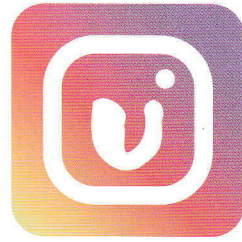
戦争に至るまでの経過、戦時中には「大きな声」では言えないが、「小さな声」が記録に残されていると私に教えてくれた高橋源一郎さんの書いた『ぼくらの戦争なんだぜ』を今読んでいます。彼は私より4歳年下、当然「戦争を知らない子供たち」です。彼の知識量には到底及びませんが、考え方は私に匹敵したりはまりました。彼は戦時中に書かれた有名、無名の詩人の言葉を拾いながら「大きな声」そして「小さな声」で、私たちを「戦争」とは？の世界に引き込んでいきます。とても面白い本なので、また別の機会に紹介したいと思います。



▶大人気!大石田の千本だんご
1時間半並んでゲットしました!

▶山寺の水みくじ
やがて浮かび上がってくる運勢は…?

Instagram



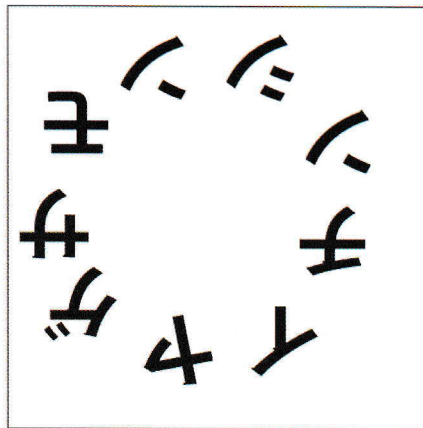
介護支援専門員
佐藤 真由美



職員が撮ったお気に入りの紹介します★

10月号の答え

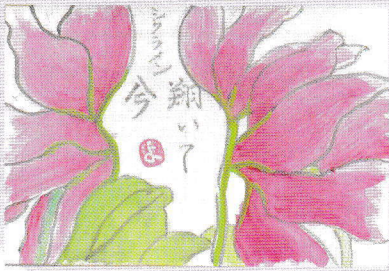
A 547円 B 586円
多いのは B でした!



☆カタカナを並べ替えると、野菜の名前が2つできます。
何の野菜でしょうか?

脳トレ
アタマの体操

富山市在住の土田芳男さんより届いた絵手紙をご紹介します。



絵手紙

今月の

編集後記

夕方、鳴き声が聞こえふと空を見上げると、白鳥さん達の群が。「おかえりなさい」と嬉しい気持ちがおみあげしてきました。皆様の白鳥さん目撃報告や「白鳥の歌」への感想もぜひお寄せください。

(阿部)

*感染症の拡大予防のため、来所される際はマスクの着用をお願い致します。

*新型コロナウイルス検査(抗原検査・遺伝子検査)できます。検査をご希望の方はスタッフまでお声がけください。予約は電話にて可能です。

お知らせ

患者様よりいただいた、色とりどりの花が、受付に飾られています。業務の合間にふと目にとまり、「きれいだなあ」と眺めて季節を感じています。
(大井)

ほほがえみし